



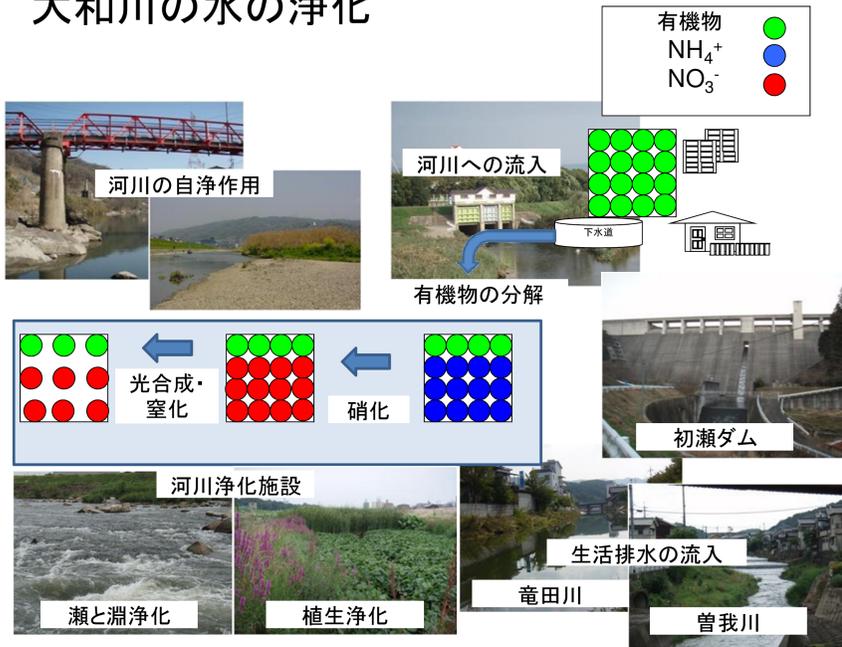
都市河川における水環境の改善と快適な親水空間の創出

(23年度独創的研究)

和歌山大学 システム工学部 谷口 正伸

都市排水で汚染された親水空間としての機能を取り戻すべく、河川の浄化能力の検証と都市空間の快適な利用方法を提案する。現状では放水路としての機能しか担っていない都市河川の浄化機能の解明と都市の変遷と都市空間の利用法の関係について明らかにしていく。研究地は和歌山市の土入川流域と大阪南部の地域、現地調査と大学内の池での調査実験を行っていく。

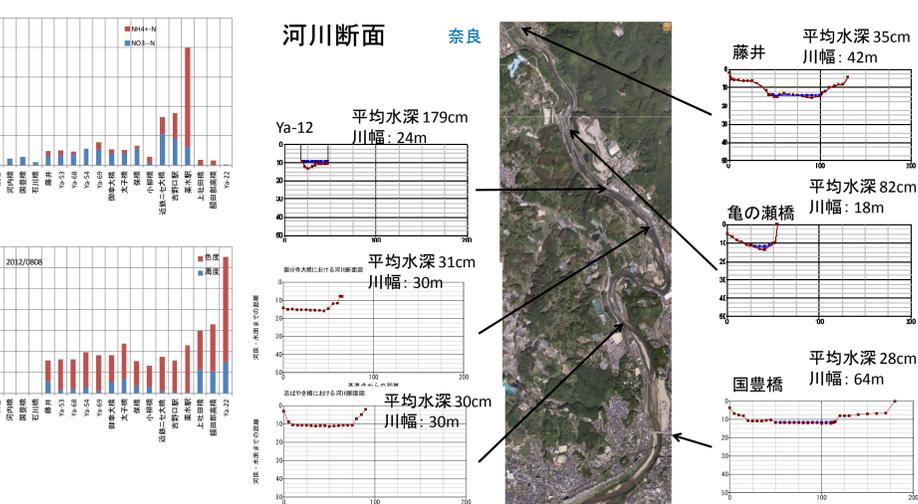
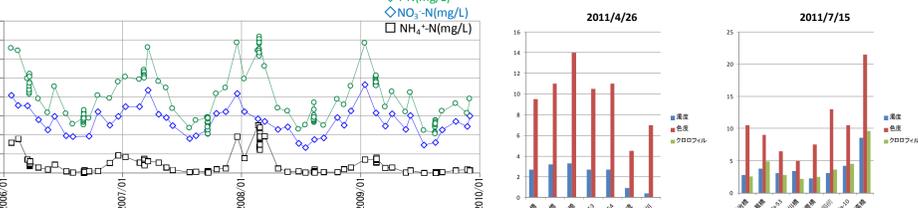
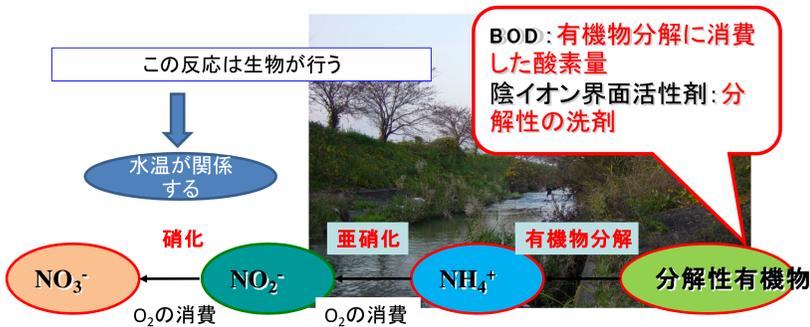
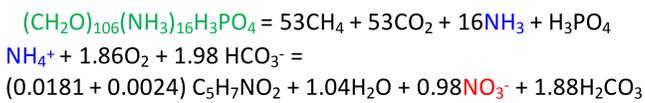
大和川の水の浄化



土入川の水質



有機物分解と硝化



学内池の底泥改善

底泥の土を日干し土砂の色の変化を観察した。下水臭は改善し、土砂の色は黒から本来の土砂の色である白に変化した。

地域へのコメント

健全な水辺を形成するためには、地域での水辺の利用を適切に行う必要があります。地域で取り組んでいかなければなりません。停滞している水が河川土壌を腐敗させていることもあり下水臭をまず改善することが親水空間になりうる条件の一つです。産学官民の地域連携がより良い都市空間を形成できることを期待します。

土地利用変遷と空間利用の関係

